

若林樹さんが全国大会で活躍 金賞とベスト賞のダブル受賞



3月6日、新冠中学校2年（訪問時）の若林樹さんが、2月7日に東京都で開催された「第16回日本バツハコスケール全国大会」中学B部門で金賞を受賞し、報告のため役場を訪れました。若林さんは金賞に加え、各課題曲の最優秀演奏者となるベスト賞の受賞を報告し、「作曲家がどういふ気持ちで込めたのか思い浮かべて演奏するように心掛けた」と話しました。

講話と読み聞かせの2本立て 親子で学ぶ家庭教育学級



3月10日、レ・コード館で町教育委員会主催の「家庭教育学級」が開催され、親子24人が参加しました。同学級は、講話と『読み聞かせの会「びっくり箱」』による読み聞かせの2部構成で実施しました。講話では、静内警察署生活安全課の武田朋広係長が実例を交えながら、子どものインターネット利用に伴うトラブルについて説明し、注意を呼びかけました。

交通事故防止への願い込め 長年続く寄贈活動



3月12日、小学校新1年生の交通安全を願い、新冠ライオンズクラブが「ランドセルカバ」、町商工会女性部が「交通安全愛の鈴」をそれぞれ寄贈しました。ランドセルカバは黄色地に反射材を備え、通学時の視認性を高めるもので、愛の鈴は会員が一つひとつ手作りし、氷川神社で交通安全祈願を受けたものです。

いずれも40年以上前から続く交通事故防止のための取り組みで、4月8日に挙行された新冠小学校入学式において、新1年生児童へ手渡されました。

無遅刻・無欠席の努力をたたえて 2人にライオンズ賞



3月17日、新冠ライオンズクラブが、小中学校を無遅刻・無欠席で卒業した児童生徒をライオンズ賞として表彰しました。今年度は泉澤怜佳さんと武井心美さんの2人が受賞し、「楽しい学校生活だった」と笑顔で話しました。表彰式は町商工会で行われ、川又敏英会長から賞状と記念品が手渡され、会場は温かな拍手に包まれました。

字本町の安田学さんが 令和7年度消防庁長官表彰を受章



字本町の安田学さんが令和7年度消防庁長官表彰を受章し、3月19日、役場会議室で山本町長から賞状が伝達されました。安田さんは、昭和62年8月に新冠消防団に入団して以来、38年以上にわたり活動を続け、豊富な知識と経験を生かして地域住民の生命と財産を守る消防活動に尽力してきたことが評価され、受章しました。

まちの話 題

避難所の環境改善へ 移動式トイレを整備



3月25日、町は、導入したモバイルトイレ車両の見学会を開催しました。災害時の避難所では、トイレ環境の悪化が健康面で大きな課題となります。町では、誰にとっても利用しやすい環境を整えるため、新しくモバイルトイレ車両を導入しました。このトイレは機動力に優れているだけでなく、段差のない広い空間を確保しているため、車椅子の方や高齢の方でも安心して利用できます。この車両は、町のイベントなどでお目見えする予定です。また、防災訓練などで実際に見て、触れていただく機会を設け、町民の皆さんの防災意識を高めるきっかけにしていきたいと考えています。見かけた際は、ぜひ災害時の備えとして実際に体験してみてください。

日頃の運動不足を解消 ヨガで感じる体の変化



3月11日と18日、町民センターで町教育委員会主催のヨガ教室が開催されました。誰でも取り組めるヨガで健康づくりや運動不足の解消を図る教室として実施し、公認運動指導士の中里美紀氏が指導しました。参加者は音楽に合わせて全身を動かし、体調に合ったツボの紹介を受けながら、体の変化を感じる様子が見られました。

グループホーム「Happy+」完成 障がいのある方の安心な暮らしを支援



新冠ほくと園が節婦ほろしりの里隣接地に建築を進めていたグループホーム「Happy+」が完成しました。このホームは、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、24時間職員が支援する体制を整えており、短期利用にも対応しています。4月の運用開始に先立ち内覧会が開かれ、多くの方が施設を訪れました。

子どもたちのために 建設協会が環境整備と支援活動



4月2日、新冠建設協会は道路のボランティア清掃を行いました。この活動は、子どもたちに気持ちよく登校してもらうため毎年行っている地域貢献で、会員は各地区に分かれ、ごみ拾いのほか、路面の砂の除去に取り組みました。また同協会は3月、子どもたちが安心して楽しく過ごせる環境づくりを後押しするため、町青年団体連絡会議に夜間の子ども向けイベント用の照明機材と、認定子ども園に空気清浄機を寄贈しました。

